

# 金沢版 手作り減災トイレB. (大小仕分けタイプ)

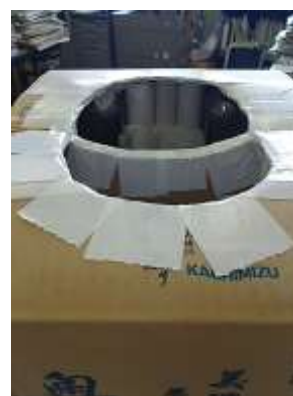


## 【材料・用具】

2ℓ水ペットボトル段ボール箱（約19×32.5×31.5 cm）2個、  
段ボールカッター（またはカッター）、定規、鉛筆、はさみ、  
タオル4枚、2ℓ水ペットボトル 4本、ラップ紙管14本、  
割り箸2膳、ポリ袋（70ℓ、80×90 cm）1枚、  
レジ袋大（約30×60 cm）数枚  
消臭・吸水用：おが屑、ちぎった新聞紙、ぼろ布、紙おむつ等

## 【作り方】

1. 2個の段ボール箱の長辺を合わせて布ガムテープで止める。  
上面に開いた段ボールをかぶせて補強し、便座の穴を描く。  
（目安は20×29 cmの楕円形、縁から7.5 cm内側に描く。）
2. 段ボールカッター（なければカッター）で穴をくり抜く。  
2つの段ボール箱を貼り合わせた仕切りの壁を  
段ボールカッターで切り下げる。切った縁に布ガムテープを  
貼る。
3. 段ボール箱の四隅に2ℓ水ペットボトルを逆さまに立てる。
4. ラップ紙管を段ボール箱の壁に立てる。高さが足りない部分は  
切った段ボールを底に敷いて調整する。布ガムテープで固定する。





5. タオルを折りたたんで布ガムテープで止める。



6. 割り箸を半分に折って側面に前部分、後ろ部分、計4か所に布ガムテープの幅を半分に切って貼る。



7. 70ℓポリ袋をかぶせ、6. の割り箸部分をはさみで切る。

8. 前穴、後ろ穴それぞれレジ袋をかぶせて持ち手部分を割り箸にひっかける。

※用を足したら、ちぎった新聞紙、紙おむつ、ぼろ布、おが屑などを入れて吸水、消臭する。  
捨てる時はレジ袋の持ち手を外して口を縛り燃やすごみとして処理する。  
新しいレジ袋をかけ直す。

#### 【子どもたちのアイデアいろいろ】

- ◆蓋をつける ◆段ボール箱の側面に汚物取り出し扉をつける ◆背もたれ付き
- ◆ひじ掛け付き ◆杖を立てる穴付き ◆小さい子用の踏み台
- ◆トイレットペーパー立て ◆カラー布ガムテープで補強&汚れ防止&装飾

この手作り減災トイレのレシピは、金沢市協働のまちづくりチャレンジ事業採択および金沢市危機管理課の委託を受けて金沢エコライフくらぶ、北陸学院大学よりそいの花プロジェクトが協働で実施した事業で金沢市立南小立野小学校、十一屋小学校、菊川町小学校、新竪町小学校、鞍月小学校の子ども達が考えたアイデアをもとに作成しました。

2016年3月